

令和7年度東京都立三田高等学校 学校経営報告

Have Wings And Fly High! - 教養・探究・立志そして世界へ -
国際理解教育・探究イノベータ推進・DXハイスクール

目指す学校<教養・探究・立志そして世界へ>

(1) 学校の教育目標＝教養人・指導者・開拓者の育成 ア 幅広くしなやかな知性と潤い豊かな感性をもつ教養人 イ 自主・創造の意欲と忍耐力・協調性との調和のとれた高い徳性を持つ指導者 ウ 自己を厳しく律しつつ、常に進取の気概をもって社会貢献できる開拓者	(2) 目指す生徒の将来像＝協働・創造・自立できる人材 ア グローバル社会の中で、多様な価値観をもった人々と英語をツールとして、協働して課題解決に当たれる人材 イ 高い志を有した教養人・指導者・開拓者として、仲間と協働し、ゼロから納得解を創造できる人材 ウ Plan・Do・Check・Actionの各能力、且つ、言語能力を持ち合わせ、社会で自立して生きていける人材 エ 専門性を有し、AI時代を生き残ることのできる人材 オ AIにない読解力と調整力を有した人材 カ 心身ともにタフな人材	(3) 学校の教育目標を達成するための基本方針 ア 問題・課題の発見から解決に到る主体的な学びを通し、個性・独創性の発現につながる質の高い学力を育む。 イ 体験活動、集団活動を通して、自主・自律の心、集団や社会の一員として自覚、社会貢献の精神を育む。 ウ キャリア教育を通して自己：：理解を促し、チャレンジ精神や進路実現に必要な資質能力を育む。 エ 国際理解教育を推進するとともにわが国の伝統・文化に対する理解を促し、真の国際人・教養人を育成する。
--	--	--

	組織	●成果と課題 ○次年度へ向けて A：大いに達成 B：概ね達成 C：達成できなかった
--	----	---

中期的目標と方策	全体	(1) 社会で活躍する人材の育成(学習指導)	数値目標	○学校評価アンケート「学習指導の満足」の生徒肯定評価85%以上 結果：91.6%であった。	A
			コメント	●リアテンドットを活用し、評価のしかたを改善し授業改善の視点を結びつけることができた。引き続き、主体的対話的な学びや個の生徒に応じた学びに応じた指導を工夫し、授業の質を高めていく必要がある。 ●生徒一人1台端末の活用、アクティブ・ラーニングはDXハイスクールとして推進できた。 ●課題研究を年間計画に基づき、継続的・計画的に実施できた。さらにゼミ活動での指導の充実が必要である。 ○観点別学習状況の評価について、教科や教科間の話し合いを通して、さらなる改善を実施していく。 ○端末の活用について、Classi ノートの活用等を含め学校全体で情報交換をしていく。	
			数値目標	○学校評価アンケート「生活指導」の生徒肯定評価80%以上 結果：基本的生活習慣82.4%、規範意識92.0%、品位ある行動91.7%であった。 ○「進学指導・キャリア教育等」の生徒肯定評価85%以上 結果：92.0%であった。	A
			コメント	●生徒主体に行事を運営することができた。継続して行っていく必要がある。また、入学者の男女比率を鑑みながら行事について精選していく必要がある。 ●学年ごとに時期に応じて進路ガイダンスを複数回実施することができた。進路部と学年の情報共有をすすめ、評価と指導の一体化を十分行うことが大切である。 ○模試返却会を学年ごとに実施し、授業や学習への指導改善につなげ進路指導を更に充実させる。	
			数値目標	○応募倍率2倍の維持 ○更新計画に基づいたホームページの管理 結果：推薦に基づく選抜3.22倍、学力に基づく選抜1.45倍であった。	B
			コメント	●学校説明会、学校見学会等を計画通り実施し、4620名の参加者があった。 ●都立高校 EXPO を含め外部団体主催の学校説明会参加の機会を活用し、大きく対応数を増やした。(12回参加、1397名対応) ○HPの随時更新により、在校生の部活動や本校の行事や教育活動PRを積極的に伝えた。特に、部活動ページに関して、全部活動が今年度の活動報告を作成しページを更新した。	
		(3) 戦略的な広報活動の展開(募集対策)	数値目標	○学校評価アンケート「学校入学満足」の生徒肯定評価90% ○サービス事故ゼロの維持 結果：96.6%であった。校外での事故1。	B
		コメント	●学校行事において生徒に主体的に取り組みせ、達成感と充実感のあるものにすることができた。 ●消防署や地域と連携した避難訓練と講話を実施し、防災教育の推進を図った。危機管理マニュアルの見直しを含め発災に備える指導を行う必要がある。 ○体罰根絶、いじめの未然防止、サービス事故ゼロ等に向けて、毎月、徹底を図る。 ○会議の時間短縮やICTの効果的な活用ペーパーレス化で、ライフ・ワーク・バランスのある職務に取り組む。		
		(4) 信頼に基づく安心・安全な学校	数値目標	○学校評価アンケート「学習指導の教材や工夫」の生徒肯定評価85%以上 結果：87.7%であった。	A
		コメント	●生徒一人1台端末を活用した授業を展開し視覚的に訴え主体的に取り組む授業は推進でき、主体的対話的なペア・ワークやグループ・ワークを多く取り入れた授業展開を多く実施することができた。 ●各行事の実施を通して協働的・創造的なクラス活動が実現でき、その経験が個々の成長にも繋がった。 ○一人1台端末、Classi-note、Microsoft Teams等を更に活用した授業を実践する。 ○行事を更に充実することで、学力だけでなく協働性や創造性を獲得させるとともに、切磋琢磨・仲間意識を育むことで個々の成長を促し進路実現を図る。 ○各学年ともに学一部生徒に学期進行で遅刻者が増加する傾向にある。対話による指導を繰り返し、学習方法を取得させ生活リズムを改善させることで、学習習慣と主体的に判断する力を育成していく必要がある。		
今年度の取組	各学年	自らの進路を主体的に考え、変化し続ける世界に対応して力強く生き抜いていく力を身に付け。そのために、継続的・計画的な指導を通じて、生徒一人一人の進路希望の実現を図る。	数値目標	○学校評価アンケート「学校入学満足」の生徒肯定評価90% 結果：96.6%であった。	A
			コメント	●求める生徒像において、生徒に求める資質・能力は伝えられているが、本校の指導方針を明確に中学生や保護者に伝える方法や資料について検討する必要がある。 ●生徒が安心して学校生活を送れているが、面談や対話的指導を通して個別の進路希望を適切に把握し、対話を通して安きに流れない進路実現を確実に実現していくことが必要である。 ○学期に1回以上面談を設定し、進路実現に向けたきめ細かい指導を継続する。 ○進路指導の全体計画に基づき、進路指導部と連携を密に図りながら組織的な進路指導を継続する。	
	教務部・DXチーム	・「主体的な学び」の構築 ・明確な目的意識をもって自ら学業に励む生徒の育成 ・新学習指導要領への対応 ・観点別学習状況の評価への対応	数値目標	○入学選抜業務に関する事故ゼロ 結果：事故ゼロ ○新学習指導要領における「観点別評価」の実施 結果：混乱なく進められた。今後継続した評価項目や内容の精査を実施することが必要である。	B
		コメント	●入学選抜業務、事故ゼロを目指して進行管理を行うことはできたが、業務の共有と分担を明確にした上で効率化と正確さ担保する必要がある。 ●観点別学習状況の評価の情報共有や研修会を通して、改善の視点を共有することができた。 ●定期的な教科主任会の開催により、教育課程の検証や教科における課題における課題の共有ができた。		

			<ul style="list-style-type: none"> ●変革する共通テストや大学入試にカリキュラム編成を通して柔軟に対応していくために教育課程検討委員会を定期的実施し、次年度カリキュラム改定を行う。今後将来構想も検討していく必要がある。 ○入選業務計画と、複数名による複数回の点検体制を引き続き計画的に構築する。 	
生活指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールマナーの徹底 ・時間厳守の精神の育成 ・帰属意識の育成 	数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評価アンケート「学校行事」の生徒肯定評価85% 結果：95.8%であった。 ○遅刻指導について 一部の生徒について遅刻の増加が見られた。学年中心に指導し、校門指導の継続を実施した。 	B
		コメント	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒が主体となり、充実した学校行事を実施し、生徒の成就感や充実感を高めた。 ○週一回の学年生徒部と拡大部会を活用し、生徒の主体的な取り組み実現のために教員間のイニシアティブをより一層高めてボトムアップを意識させ、生徒指導に一丸となって取り組む。 	
生活指導部・保健	生徒の自己管理能力を育成し、健康で安全を心がける生徒の育成を図る。	数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ○定期健康診断で1年生全員面接終了 ○生徒理解のための研修開催（年1回以上） 結果：1年生の全員面接は実施できた。SCとの連携もスムーズであった。 	B
		コメント	<ul style="list-style-type: none"> ●第1学年の全員面接はスムーズに実施できた。時期に全教職員で共有し、活用する必要がある。 ●定期的にSCとの情報共有、特別支援教育に関する委員会、生徒理解のための研修会を計画通り実施した。 ●清掃や環境整備について、大掃除の重点項目を決めて計画的に、整理委員会が活性化するなど、清掃意識の向上が見られた。美化活動の充実をプロジェクトとして実施し教室扉の塗装を協力して行うことができた。 ○OSC、専門医、センター校機能等を活用し、生徒理解や教育相談の充実に努める。 	
進路指導部	教養人の育成を目指すことにより、「高い志の進路実現」を促す。	数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ○進学実績の維持（ ）は浪人も含めた数値 今期分は3月16日現在（国公立前期まで） 今期 昨年 結果：国公立計 50 (54) 46 (53) 早慶上理 ICU 132 (141) 119 (139) 	A
		コメント	<ul style="list-style-type: none"> ●進路指導部と学年が連携した進路指導の充実を図った。自主学習支援員の時間を増加させたことにより、活用した生徒数が昨年度の2.5倍に増加した。 ●模試分析会を6回、共通テスト後の志望校検討会を1回開催し受験情報や生徒状況を適切に把握し、授業へのフィードバックや、3学年的担任団への受験準備支援を行った。 ●引き続き生徒に向けた「模試のお知らせ」を4月と2週間前に示し、模試実施の意義等も意識させることをだけでなく、重点的に学習すべき内容も示して、効果の向上を図った。 ○全学年の校内模試で「問題分析」及び「小問別分析」を各教科で実施し、本校生徒の課題について教員が確認して教科指導に生かすこと。これも継続して行い、生徒の弱点を生徒教員ともに共有する。 	
国際教育部	本校の特色である国際理解教育や探究活動をより充実させることにより、生徒の幅広い「高い志の進路実現」につなげる。	数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評価アンケート「世界に向けて視野を広げる教育」の生徒肯定評価80% 結果：91.1%であった。 	A
		コメント	<ul style="list-style-type: none"> ●三田ESSPAとしてカナディアン・キャンプ、プリティッシュ・ヒルズ、TGG、ボストンアカデミックツアーを実施した。また、台湾での海外修学旅行を再開し、世界に対する意識を拓ける学びを実現することができた。今後も準備と工夫や対策を充実させ国際交流課活動の機会を提供できるようにする。 ●探究活動については、中間発表・最終発表（2年生）、計画発表会（1年生）において外部講師の助言を生かし、生徒は活動を修正し、探究活動を深めることができた。 ○ユネスコ委員会等によるシンポジウムの開催など生徒が主体となって実施する行事も開催することができている。継続性や発信力を高める工夫など指導面でも工夫していきたい。 	
庶務部	・戦略的な広報活動の展開	数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ○校内学校見学会参加者数延べ2979人 校内学校説明会参加者数延べ1641人。 ○一次応募倍率2倍の維持 応募倍率は1.45倍であった。 	B
		コメント	<ul style="list-style-type: none"> ●本校のHPや「#だから都立高」等のサイトを活用し、学校生活を発信することができた。 ●学校見学会・学校説明会のネット申込を円滑に行った。 ●学校見学会等では、生徒会役員が広報を積極的に担当し、受験生と直接話す機会を多く持たせることができた。 ●学校の特色と生徒の活躍が伝わりやすく、見やすい構成を工夫し、学校案内を一新した。 ○ウェブサイトの活用により部活動や学校行事等を広報し、情報発信の充実を図りたい。 	
経営企画室	学校経営へ積極的に参加し、円滑な教育活動を支援する	数値目標	<ul style="list-style-type: none"> ○予算執行におけるセンター執行率58% 結果：センター執行率(47.2%)であった。 	B
		コメント	<ul style="list-style-type: none"> ●体育館及びグラウンドバスケットゴール更新工事、空調設備の不具合・不良箇所についての修繕を実施した。引き続き老朽化が著しい校舎の維持と、生徒の安全を最優先した環境整備を実施していく。 ○国の就学支援金や奨学のための給付金等の制度改正に応じて、生徒保護者への情報提供、早期の事務処理等適切に取り組んだ。来年度の制度改正に向けて、迅速かつ丁寧な対応を継続していく。 ○自律経営推進予算と各種推進校予算を有効活用し、Tokyo GE-NET20・DX・探究学習・国際理解教育等に対する支援を適切に行った。 	